

令和5年3月10日

各位

会社名 株式会社 精養軒
代表者名 代表取締役社長 酒井 裕
(コード番号：9734 東証スタンダード市場)
問合せ先 専務取締役管理本部長 清田 祐司
電話 03-3821-2181

通期個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

令和5年1月期の個別業績につきまして前期実績値との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 令和5年1月期通期個別業績と前期実績値との差異 (令和4年2月1日～令和5年1月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|----------|-------|------|------|-------|----------------|
| 前期実績(A) | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円銭 |
| 令和4年1月期 | 913 | △907 | △461 | △476 | △183.13 |
| 当期実績(B) | 1,888 | △372 | △304 | △309 | △118.80 |
| 増減額(B-A) | 974 | 535 | 158 | 167 | |
| 増減率(%) | 106.6 | - | - | - | |

2. 差異が生じた理由

売上高につきましては、令和2年以来、新型コロナウイルス感染症拡大により、大きな打撃をうけました。感染拡大が3年目を迎えた令和4年前半は、オミクロン株の拡大により低迷が続きましたが、後半に入り、感染者数が増加しても国や行政からの行動規制が発動されることはなく、旅行支援等の拡大やインバウンド需要の回復などにより、人流は着実に改善してまいりました。その結果、前期と比べて106.6%の増収となりました。

経常損失、当期純損失につきましては、業務の効率化において、各種新システムの導入などにより、繁閑状況の早期把握による適正な人員配置など、特に人員効率の改善に取り組み、人材育成においては、接客力向上を目指し、サービス担当の教育強化などに努めて参りました結果、赤字は縮小し、経常損失304百万円、当期純損失309百万円となりました。

以上